

和地ひとみレポート

No.8

第2回定例会での和地ひとみ一般質問② 「ふるさと納税について」 財政難となげくだけではなく、工夫と努力をするべき。



…今回の一般質問で、和地ひとみは

- ① 市職員の市民対応について
- ② ふるさと納税について 質問をしました。

①の市職員の市民対応については多くの市民の方より不満の声を聞いたことから市役所の体制を調べ、疑問点があったため質問することとしました。②のふるさと納税については、市の財政が厳しい状況の中、市への寄付としてふるさと納税をしようとした市民の方より、HPにも掲載がされておらず、市の対応が非常に悪かったという話を数件聞いたためです。

■ 都内でも活用されている「ふるさと納税」

…「ふるさと納税」は厳密には寄付金税制です。この税制がH20年4月に施行されて3年以上経過し、各自治体の取り組みにも温度差が生じています。当初、「ふるさと納税」は、都心と地方の税収格差を緩和するために制定されたため、東京都内にある東大和市では、むしろ税収が減ってしまうのではないかと懸念から消極的な対応でした。しかし、財政を健全化する必要のある本市としては、現状あるこの制度を積極的に活用することが必要ではないかと考え、一般質問の中で本市の対応について質問しました。

…「ふるさと納税」は、寄付をする自治体在住の方々も対象となるため、東京都内でも「より良い町づくりへの参加」という趣旨を軸に、住民の町づくり参加への意識を高める、町に愛着を持ってもらうなどの意味をもって、積極的に告知している自治体があります。たとえば足立区や世田谷区などの区部の自治体でも「教育」「福祉」「緑を守る」など様々なテーマの基金を作り、積極的にHPで呼びかけを行っています。隣接する武蔵村山市ではH22年度には1300万円以上の寄付があったことをHPで公表し、その使い道についても掲載されています。

…寄付を受けた自治体が感謝を表し、その使い道を明確にすることで、寄付者は安心して寄付ができます。寄付をした金額に応じて寄付者の住民税が控除されるため「ふるさと納税」となったこの税制は、基金を選べれば、使ってもらいたい用途に納税をすることと同じような意味合いで自治体にお金を納めることが可能になるのです。

■ HPでふるさと納税を告知していないのは…

…東京都23区26市のHPで「ふるさと納税」のことを全く取り扱っていないのは7自治体のみでした。質問に先駆け、市役所の担当部署に確認したところ、これは地方都市のための税制で、東大和市では寄付を受けることは少ないと考え、HPに情報を掲載していなかったとのことです。(今回の質問の数日前にHPに簡単な情報が掲載されました)しかし、市民の方が東大和市に寄付をしようとして市役所に問い合わせても対応が悪く、辞めてしまったという話を私は数件耳にしています。市民の皆様の思いに対応できていないということはもとより、財政が厳しい、厳しいと言いながら、できる限りの努力をしていない、工夫をしていないのは怠慢と言われても仕方がないように思います。

■ できる限りの工夫をし、知恵をしぼるべき。

基金を作ることは方向性を示すこと・・・

…尾崎市長は農地の保全のための基金を考えていると所信表明で語られました。そこにふるさと納税は活用できます。また、様々な自治体で、そのまちづくりの方向性を示すような基金を立ち上げています。

…東大和市でも今後のまちづくりの方向性を示すような基金を立ち上げ、その実現に向けて前向きに取り組むという姿勢が必要ではないでしょうか。

…たとえば、本数を増やしてほしい、ルートを変えてほしいなど、市議会でもよく議論にあがる「ちょこバス」の問題。市の回答は、一言で言うと財政難で対応できないというものです。では「ちょこバス基金」を立ち上げたら良いのではないかと今回は提言してみました。社会人になって東大和市から転出した人でも、東大和市に住むご両親の交通の利便性を高めるために自分の住んでいる自治体に納める住民税の一部を「ちょこバス基金」に納めることができるようになります。もちろん、そのような基金が立ち上がった場合には、行政はきちんと感謝を表し、その用途を公表することが必要です。今回の一般質問の最後に、協力者や市民と行政が真摯に向き合うということがすべてのことに必要だと述べてもらいました。